

戦評用紙

大会名	平成29年度 第68回山形県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
-----	------------------------------------

日時	2017年6月4日 13:30 ~	区分	山形県高体連
----	-------------------	----	--------

チームA				チームB
羽黒				日本大学山形
80	11	1Q	23	74
	25	2Q	25	
	21	3Q	9	
	23	4Q	17	
		延長		

【戦評】

東北新人大会で準優勝、先の藤井高野杯で優勝した第1シードの羽黒高校と県新人戦で優勝した第2シードの日大山形との決勝戦となった。

1Q 両チームとも、ハーフコート・マンツーマン・ディフェンスでスタート。日大#8の3Pで先制する。その後も日大#7、#8の得点が11点連続で決まり、日大が先に流れを掴む。流れを切りたい羽黒は開始2分で1回目のTO取る。その後DFを2-3ゾーン・ディフェンスに変え羽黒も#10のドライブシュートで応戦。しかし、勢いは衰えず11-23、日大のリードで1Q終了する。

2Qは、日大がマンツーマン、羽黒が2-3ゾーン・ディフェンスを継続。羽黒は#13のリバウンドやゴール下でのシュートを重ね、日大が開始3分で1回目のTOを取る。【21-28】TO明けからは、両チーム3Pの応戦で前半だけで日大が8本の3Pを決める。36-48の12点差で日大がリードして終了。

3Qからは、両チームともハーフコート・マンツーマン・ディフェンスに戻し、羽黒の#4、#10の3Pが決まり初め、残り4分半で日大山形がTOを取る。【54-57】日大が3-2ゾーン・ディフェンスに変え流れを切りたい所だったが、#10のバスケット・カウントで57-57の同点とし、試合を振り出しに戻し終了。

南東北インターハイが懸かった最終4Qは、開始2分で羽黒#4の3Pが決まり逆転。【62-59】その後、両チームの一進一退の攻防続き、日大#10の5ファール退場もあったが、代わって入った#9のシュート、#7のドライブシュートが決まり、シーソーゲームとなった。最後はファウル・ゲームに持ち込んだが、高さで勝る羽黒#13のゴール下シュート、フリースローを着実に決め、80-74で羽黒高校が初優勝を飾った。苦しい場面を粘って耐えた羽黒高校の全国での活躍を期待するとともに、最後までボールへ執着した日大山形の健闘も讃えたい。

戦評者

小野賢一郎